

# 御殿茶屋でワンコイン感謝デー！！

## 地域おこし協力隊飯田さんがコンサート、4日間で100人参加



飯田さんと御殿茶屋スタッフ

令和三年十一月一、二、四、五日の四日間、清川歴史公園園川口番所において御殿茶屋による清川地区のみなさんへワンコイン感謝デーが開催され、昨年より多いおおよそ一〇〇名の参加がありました。  
食事終了後には地域おこし協力隊飯田陽子さんによるミニコンサートも開催されました。  
コンサートでは「みんなの清川」も披露されました。



令和3年11月1日



令和3年11月2日



令和3年11月4日



令和3年11月5日

# 清川歴史公園かわら版

### ■発行所

清川歴史公園  
管理運営委員会

### ■連絡先

庄内町  
立川総合支所  
立川地域振興係

清川歴史公園管理運営委員会では、食堂・売店・カフェなどにご協力いただける方、一緒に地域を盛り上げていただける方を募集しています。  
管理運営委員会、または役場立川総合支所立川地域振興係までお気軽にお声がけください。

連絡先 〇二三四一五六二二一七

## 食堂売店部会 観光案内部会 合同視察研修会

湯田川温泉はよと旅館  
新徴組墓地・大督寺  
致道博物館 致道館

十月十八日に観光案内部会と食堂部会合同の視察研修会を行いました。

初めに湯田川にある清河八郎所縁の新徴組墓地を訪れました。戊申戦争が始まり、庄内藩の江戸引き上げに伴い、新徴組隊士とその家族も随行しました。会津藩や新選組とともに戦い、墓地には湯田川在住中に亡くなった隊士とその家族二十名の慰霊が眠っているそうです。  
昼食は当時、新徴組の本部となった隼人旅館でいただきました。  
午後からは浄土宗の寺院大督寺を訪れました。大督寺には庄内藩、酒井家累代の墓所があります。酒井家墓所については寺



清川公民館の前にあるバス停の名称が「清川公民館前」から「清川関所前」に令和三年九月一日から変更になりました。



新徴組墓地前にて

院内からの視察見学となりました。面積七二七〇㎡の広大な墓所でした。  
致道博物館では、酒井家庄内入部四〇〇年記念プレ企画展「藩主の宝、藩士の宝」が開催されました。  
酒井家に伝来する掛け軸、茶道具などの展示があり、松ヶ岡開墾場に関する品の展示もありました。  
致道博物館では米沢からの就学旅行の生徒の姿もありました。  
致道館は庄内藩九代藩主酒井忠徳が創立した藩校で自主学习が中心の校風だったそうです。  
致道館の一番奥に位置する「御入間(おいらのま)」は戊申戦争で敗北した時、官軍側の黒田清隆に降伏し、謝罪した場所とされています。このときの処分は西郷隆盛の意向によりきわめて寛大なものであったとのこと。

# 清川地区の地域おこし協力隊に着任した玉越(たまこし)です。

## どうぞよろしくお願ひいたします。

十二月一日から清川地区の地域おこし協力隊に着任した玉越(たまこし)と申します。

私はこれまでホテルを含む旅行業界で通算二十年以上勤務してきました。

また趣味でも旅行が好きで、日本各地を旅しています。その中で特に心惹かれて、何度も足を運ぶようになったのが山形。

地域おこし協力隊に応募する前にも、清川歴史公園を訪ねています。

その際に感じたことは、

・清川歴史公園の管理人さんをはじめ、御殿茶屋スタッフ皆さんのマスク越しでも感じる笑顔と優しいおもてなし

・甲冑や書物、襖絵など歴史資料に囲まれているた蕎麦の美味しさ

・木材チップが敷き詰められた御殿林の散策路で感じた、歩く感触の心地よさや木の香り、木漏れ日

・庄内藩の大名行列や松尾芭蕉をはじめ多くの旅人が行き来した歴史を感じる、最上川の悠久の流れ

これらは誰もが「旅をしたくなる」魅力です。

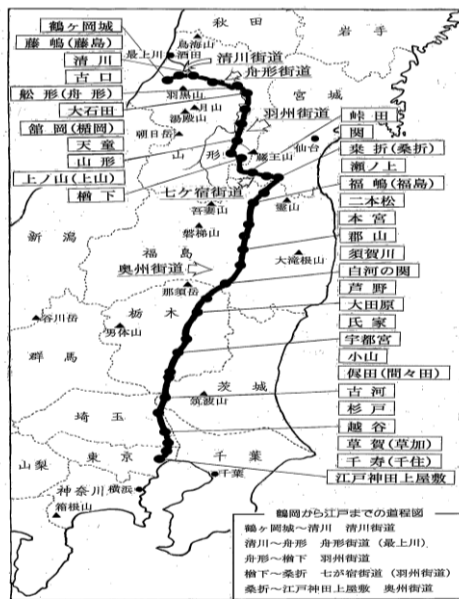
私はこれまでの経験を活かして、この清川歴史公園の魅力を発信することで、県内外の皆さんに広く知っていただき、お越しいただきたいと考えております。

その為にも、皆さんからも色々お話を伺えればと存じます。

どうぞよろしくお願ひいたします。



12月1日から清川地区初の地域おこし協力隊員に「玉越宏(たまこしひろし)さん(写真)」が就任されました。玉越さんは関西出身で前勤務地の東京から庄内町にやってきました。任務は「歴史・文化資源を活かした観光交流人口の拡大による地域活性化」であり、地元清川を盛り上げる役目です。勤務場所は主に清川出張所で、住まいは新町集落です。



鶴岡から江戸までの道程図

そのほかに、庄内藩の参勤交代の出発日到着日を記載した「庄内藩主の参勤交代」をパネルにして展示します。庄内藩の参勤交代に関する展示品を数多く展示いたしますのでご期待ください。

左図については参勤交代で通った鶴ヶ岡城から江戸神田上屋敷までの道程図で、写真下については「江戸庄内道中記」より庄内から江戸までの絵図のうち鶴岡から狩川、清川までの絵図をパネルにして展示します

十月十四日に企画展示部会において致道博物館に伺い来年の企画展示「酒井家庄内入部四〇〇年記念展示連携事業 庄内藩の参勤交代」について菅原主任学芸員に助言をいただき掲載の資料等をお借りし展示することになりました。

企画展示部会より  
 ↳三月からの展示物↳  
 酒井家庄内入部四〇〇年  
**庄内藩の参勤交代**

江戸庄内道中記 庄内から江戸までの絵図のうち鶴岡から清川までをパネルにして展示します。



清川 東興野 狩川 千本杉 藤島 渡前 赤川 鶴岡

### 歴史の里のおもてなし ↳ガイドの会より↳

コロナの中、今年は七月にガイドの会の活動がスタートしました。感染予防に気をつけながら、十三件の案内をしました。

庄内交通バスツアーは予定通り四回実施することができました。暑さと高齢者が多いことから、バス内で説明することもありましたが皆さん喜んで下さったと感じています。

八月は、庄内コンベンション協会の「やまがた庄内観光サイト」の取材もあり、九月にホームページにアップされました。

十月には庄内総合高校三年生の皆さんの北楯大堰や歓喜寺、関所等を巡る街あるきをガイドしました。

十一月に東京から女子大生一人が見えられ、御殿茶屋で食事のあと少しお話をしたところ、史学を学ぶ四年生で「幕末期の庄内藩」をテーマに卒業論文を書いており、その取材で来庄し鶴岡、酒田、清川を訪ねているとのことでした。関所内で、戊辰戦争清川口の戦いの説明をし、後で雷山筆の合戦録の資料を送ってあげました。庄内にはゆかりのない方でしたが、取材しているうちに庄内が好きになったと話してくれました。このような出会いも、関所ができたからこそ嬉しく思いました。

暑さとコロナの中での今年のガイド活動でしたが、無事終えることが出来安堵しています。来年こそコロナが完全終息し、元の暮しが戻ることを期待したいものです。